

～平成29年度 士幌町商工会青年部視察研修 視察②～
札幌演劇シーズン2018-冬「イレブンナイン サクラダファミリー」



今年の青年部視察研修の視察先を例会で協議していく上でこんな事を考えました。わたしたち商工会青年部員(若手事業者、後継者)に対して日頃案内が来る研修・講習会の内容という…、経営・会計の勉強、販路拡大方法、補助金活用、事業承継、事業計画策定など、一見今後の仕事に直結しそうな固い内容のテーマばかり。あるいは、異業種交流や人脈作りを目的とした社交場を提供する主旨の集まりばかり。

一方で、商工会青年部員の多くは、家庭に戻れば夫であり幼い子供を持つ父親であり、地域の祭り・ボランティア・消防団に参加し、平日の夜や土日の多くをそれにあて、1人でゆっくり我が道をふり返る時間や余裕など持てないと思っている。仕事でもそう。日々、会社の決定権や帳簿を預かる両親と向き合い、あるいは従業員や取引先と上手くやっていかなくてはならない代表者としての悩みも持っている。そして何より今年の夏祭り…ステージゲストはいったい誰を呼んだらいいのか…。

そんな悩んでなさそうで実は悩み多き青年部員に、わたし柴田は、琴似のコンカリーニョにてイレブンナインの舞台「サクラダファミリー」観劇を提案しました。イレブンナインという劇団は、道内でも観客を呼べる団体として人気があり、CMやラジオなどに出演している役者さんもちらほら。皆、夢をつかもうと、多くの方はアルバイトをしながら忙しい合間をぬって稽古に励み、営業に廻り、やりたいことに取り組んでいる。その役者さん達の姿は、われわれ青年部員にどう映るのか。はたして演劇に興味のない部員にも響くのだろうか。

開演前…、多くの観客が当日券に並んでいる。大々的な広告を打っているとはいえないこの演劇に彼ら彼女らはどういう経緯で集まったのか？関係者や友人だけではない。一般のお客さんも多くいる。本屋のビジネス書コーナーに平積みされているような「SNS活用による情報発信」だけが、皆の足をこの場に向けた理由なのだろうか？

演劇は、頑固な親父と、複雑な関係性を持った家族が「家族とは何か？普通とは何か？」をテーマに約2時間ノンストップで繰り広げられた。

笑える演出あり、睨が震える演出あり、彼らは色々な事情を抱えながらも、この舞台に立ち、今を一生懸命に取り組んでいる。わたしたちの夏祭りもそうだと気づく。

ただ何となくTVによく出ている有名人をゲストに呼べばいいというものではない。ただ人が少なくなったからという理由だけで他団体と連携して予算を捻出し、イベント会社にまると外注すればいいというものでもない。

昨今は、映画やドラマはビデオオンデマンド、思いや考えはブログやインスタ、ツイッターなどの電子的な方法で簡単に表現できる。そんな中で、演者さん達は空気感までを演出にして演劇という舞台を作っている。今回この演劇を観られて本当に良かった。さて、今年の夏祭り、ステージゲストはいったい誰を呼んだらいいのか…。

しほろっち

第87号

しほろっち

第87号

「ネットを徹底活用！事業計画策定！のための講習会」



1月16日に「一圓勝彦」さんの3回目の講習に参加しました。今回は大林部長の声掛けにより、青年部部員も数名参加しました。

過去に、第1回、第2回と参加させて頂きましたが、今回も一圓先生の実例を踏まえながらの講習は、楽しく参考になるお話で、今すぐ実践出来るテクニックも教えてもらいました。

今までもいろいろな講習に参加しましたが、一圓さんの講習は、これまでのいろいろなコンサルタントの講師の方とは違った視点でアプローチされており、様々な業種に応用出来る、そして思わず笑ってしまい、あっという間に時間が経ってしまう内容となっています。

次回、第4回目が最後の講習となっておりますが、2月13日(火)にありますので、ぜひ参加してみてください!!

しかも無料ですよ！お問い合わせは商工会でお願いします！

北嶋 克章